

平成 25 年度地域医療・介護連携推進事業 一関コミュニティFM (FM あすも) 番組

平成 26 年 3 月 12 日 (水) 17:20~17:30 (塩竈一常 GET KING!!)

(再放送: 3 月 16 日 (日) 9:10~9:20 REFRESH!!)

「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」

第 3 回放送 一関歯科医師会 会長

久保田歯科医院医師 久保田文吾先生

(聞き手: 塩竈一常)

**塩竈** さて、「医療と介護の窓みんなで育てよう地域医療」のコーナーです。今日、スタジオにお越しいただきましたのは、一関歯科医師会の会長 久保田文吾先生です。久保田先生、よろしくお願いたします。

**久保田** よろしくお願いたします。

**塩竈** 久保田先生は、上大槻街の方で久保田歯科医院をなさっているそうですね。

**久保田** はい。

**塩竈** まず、先生にお伺いするんですけども、この一関歯科医師会ですけれども会員の皆様というのは大体何名くらいになるのですか。

**久保田** 現在 67 名ですね。

**塩竈** 皆さんが、その歯科に関する医療機関、診療所をされている方々。

**久保田** そうですね。ほとんどが、歯科医院、歯科クリニックを開設してそこで診療している方。あとは、病院に勤務されている方もいらっしゃいますけれども。

**塩竈** 歯科医師会ですけれども、こちらの方ではこういった取り組みですとか、こういったのをやっている団体なのでしょうか。

**久保田** まず、主には一関市の歯科保健事業への協力ということで、乳幼児の歯科検診とかです、それから学校等での歯科検診です、小・中・高等学校等の学校での歯科検診。それから、

妊婦さんの歯科検診。それから、40 歳以降、節目で 40 歳、50 歳、60 歳、70 歳というふうな節目の時に成人歯科検診というのがあります。それから 5 月の連休とそれから年末年始には休日歯科診療というのが東西 2 ヶ所で行われております。

**塩竈** 地域のその皆さんの歯を守るということ、これを協力して行っているということですね。

**久保田** はい。

**塩竈** この他にも、市民の皆さんに歯の健康について親しんでいただくということで「健康啓発事業」というのもあるそうですね。

**久保田** これはですね、歯科医師会と市と協力して行っておりますけども、6 月の「歯の衛生週間」ですね、その頃の日曜日に、いつもイオンの 1 階のところで「歯の健康展」というものを行っております、歯の健康相談とかですね、歯磨きコーナーとかですね、それから市町村で行っている歯科保健事業のコマーシャルとかです、そういったことを行っておりますし、秋には社会福祉協議会で行っている「ゆいっこ広場」というのがありますけども、そこで同じ様にやはり「歯の健康展」を行っております。

**塩竈** はい。皆さん、こういった「健康展」などでも、実はこういった歯科医師会のみなさんとのその繋がりというがある訳ですよ。さて、このコーナーではですねこの医療機関の役割、利用方法を市民の方々と、そして医療、介護、福祉関係の方々が共に協力して理解していくこ

とが大切だというコンセプトでお送りしているんですけども、今回、先生にはこの歯医者さん、歯科というところをこう注目してお話を伺っていきたいと思います。様々なその医療機関との連携、この歯医者さん歯科というのは他にどういった繋がりというのが他の医療機関とあるのでしょうか。

**久保田** やはり歯科を受診される方は、医科を受診している方も一緒に受診しておりまして、そういった方々は、いろんな沢山の薬を飲んだりとかしておりますので、そういったことで連携を取らないと私達の仕事もスムーズには進まないということになります。それから、身体の疾患で歯科と非常に密接に関わっている疾患というのが非常に多い。そのひとつの例として、糖尿病ですね。歯周病と糖尿病が、非常に関連が深い。糖尿病のある人は、歯周病になりやすいし、それから治りにくいというのもあります。

**塩竈** 糖尿病の治療の中でも、その内科的な治療だけではなく歯科とも関わって合わせて治療していく。

**久保田** 両方で治療すると非常に効果的だというふうに言われております。

**塩竈** そうなのですか。この他にも、ガンの治療等でも最近では治療を本格的に始める前に、歯医者さんにかかるという、こういった流れというものもあるとお伺いしたんですけども。

**久保田** 特に消化器の上部の方ですと、口の中の汚れが手術後の経過に非常に影響を与えると、ということで、「手術を始める前に口の中をチェックして、きれいにしておいてください」ということとかですね、抗癌剤治療を使っていますと口腔内の乾燥とかそれから潰瘍ですね、口内炎の様なものができて非常に大変な思いをする場合があるんですけども、症状の軽減のために「口の中のお手入れをしましょう」というふうなことで連携を取る様にとということで今やられております。

**塩竈** いざ、こういった糖尿病とかガンとか大

きな病と立ち向かう時というのは、身体へのその影響ですとか負担というのが結構大きい時だと思っんですよね。それに合わせて、歯科の治療とかこういった様々なものを複合して治療していく、これやはり事前に予防ですとか歯を健康に保っていくことが大切というのが、ここからも分かりますね。

**久保田** そうですね。痛くなった時だけの通院ではなくて、定期的なチェックというようなものが非常に大事になってくるのではないかと思います。

**塩竈** 町中などで春と秋を中心に行われています「歯の健康展」こういったのも行われていますので、ぜひとも皆さん足を運んでいただいて、この歯・口この健康についてしっかりとまた捉えていただければと思います。さて、先生にはですね今日は、「高齢化に伴う口腔の変化」というところちょっとお話を伺いたいんですけども、実は3月1日の日に東山地域交流センターで研修会が行われたということですね。これが、「在宅・施設での口腔ケアについて」ということで先生が講師として務めたということなんですけども、ご高齢になると歯の変化というのは、口の中の変化が出てくるというお話、あらためてラジオでも先生聞かせていただいてよろしいですか。

**久保田** 高齢になると、まず特徴的なのは「口の中の乾燥が非常に多くなる」ということです。唾液が出にくくなるというふうなことです。これは、いろいろ高齢に伴う唾液腺の委縮とか、あるいは薬剤の影響とかいろいろありますけれども、口が乾いてメタメタするとかですね、上手く話しが出来ないということがありますけれども、それに伴ってむし歯にもなりやすくなったりとか、歯周病が進行しやすくなったりするというふうな傾向があります。唾液には、むし歯とか歯周病を防ぐ、なりにくくする働きがあるんですけども、その唾液が出にくくなるということで、歯周病やむし歯が進行しやすくなるというふうなことがあるんですね。

**塩竈** 唾液というのをできるだけ沢山、分泌さ

せるふうにしていくのが大事なわけですか。

**久保田** 口の中が汚かったりしても、唾液が出ていくというのがありますので、口の中をきれいにしていったりとかというアプローチが必要になってきます。

**塩竈** これは年齢がどんどん高くなっていくと、先程もお話しありましたけれども、段々出てくる量が少なくなってくる。てなると意識的にちょっとそういう唾液をこう出させる様な取り組みというのを個人個人でちょっとしてみた方が良いでしょうね。

**久保田** 簡単な方法ですと、唾液腺のマッサージというのがあります。

**塩竈** 唾液腺のマッサージ。

**久保田** 口の中には沢山の唾液腺がありますけれども、その中には大きな耳下腺(じかせん)、顎下腺(がつかせん)、舌下腺(ぜっかせん)というのがあります。

**塩竈** 耳下腺、顎下腺、舌下腺。

**久保田** 耳下腺というのは、耳の前の辺り、この辺あたりですね。ちょうどおたふくかぜの時に腫れる、そこが耳下腺です。そこをマッサージして揉んであげたりとかですね。

**塩竈** 甘い物を食べた時に「イー」となる辺りですよ。

**久保田** 顎下腺というのは、下顎の下の辺りですね。この辺にありますけども、これも親指なんかで揉んであげてみてください。舌下腺は、下顎の真ん中の辺りですね。その辺も、やっぱりマッサージしてですね。

**塩竈** 顎の下のところ首との間の辺りをちょっと優しく普段からマッサージする癖をつけておくと良いかもしれませんね。なるほど。こういった分泌を促していくことで、口の中を清潔に保ってくれるという役割がある唾液、これが

分泌しやすくなってくる。こういった様々なセミナーなどを通じて、いろんな皆さんにこの大切さっていうのを皆さんに伝えていращやるということなんですね。

**久保田** はい。

**塩竈** このほかに年齢が高くなってくると、口の中の変化で気を付けなければいけないことって、こういったことがありますか。

**久保田** まずは、歯の本数が減ってくるというふうなことがありますね。そうすると、やっぱり噛みにくくなりますから、やはり人工的なもので入れ歯とかですね、歯をきちんと入れて噛めるような状態にするということが大事になると思いますね。

**塩竈** こういった口の中の変化について、いろいろこういった疑問が生まれてきたりとか、それから、こまめなそのメンテナンスといいますかね、口の中のチェックは大事かと思うんですけども、となると歯医者さんの待合室を見るとこの高齢者の方は多いんでしょうか。

**久保田** そうですね。やはり一関市も、もう3割以上が65歳の高齢者ということで、非常に高齢の方が多くなってきております。さらには、以前は通院できたのに、段々通院できなくなってくるという方も増えてくるわけですね。

**塩竈** なるほど。通院困難、家で寝たきりであったりとか、それから施設からなかなか動けなかったりとかあるわけですね。一関歯科医師会では、こういった方々への家庭訪問診療というのを行っているということなんですが、こちらについてもちょっと先生教えて下さい。

**久保田** これもやはり、一関市の事業に私達も一緒にやっている事業なんですけども、ご家庭で寝たきりになってしまって、そして、口の中にいろいろなトラブルを抱えて、例えば「歯が痛い」とかですね、「入れ歯が割れてしまった」とかですね、「歯茎が腫れた」とかですね、あるいは「口の中が汚くて診てもらいたい」とかで

すね、そういったトラブルとか問題を解決するために、歯科医師、医院のスタッフとかがご家庭を訪問して、診療するというふうな事業、流れとなっております。

**塩竈** なるほど。それぞれの寝たきりになったりとか、ご家庭で介護を受けているというのは、それぞれの病気が原因であったりとか、足腰がちょっと弱ってきたりといういろいろあるかと思うんですけども、そういったところ、その場所その場所の治療だけでなく、これから先の診療に備えてのそういったケアということでのその家庭訪問診療というのはすごく大事ということですね。岩手県では、口腔、口の中ですね、その健康づくり推進条例というのができました。これについても、先生ちょっと分かりやすく教えていただけますか。

**久保田** これは、昨年4月に施行されたんですけども、「岩手県口腔の健康づくり推進条例」ということで、岩手県では乳幼児期とか学童期のむし歯が、他の県に比べて多いというふうな事情とか、あるいは重度の歯周病に罹患している人が段々増えてきているというふうな状況とかですね、それから高齢者の割合が非常に多いということで、口腔、口の働きをこれ以上低下させないように今の状態を維持するためにいろんな歯科的な口腔の健康に対する施策が急務であるということで、このような「健康づくり推進条例」というものが施行されました。

**塩竈** 昨年4月1日からということなんですけども、県民、私達がそうですし、県として、市町村として、先生のように保健医療に関係されている方々それぞれの役割、それから県としてどのような方針をこうしていくかというところをこう決めるというものなんですね。こういったのに乗っ取って様々取り組み一関歯科医師会の方でも取り組んでいるということです。久保田先生にいろいろお話を伺ってきたんですけども、最後にですね久保田先生、こういった歯科診療に関して思われることを最後にお伺いしたいんですけども。

**久保田** 口の中というのは、本当に身体のほん

の部分ですけども、おそらく身体の中で最も敏感な場所でありまして、そしてさらには、物を食べるとか、話をする、コミュニケーションをとるとか、あるいは顔の表情を作るとかという生きて行くうえで最も大切な場所のひとつであるというふうなことが言えると思います。その場所を健康に保つということは、生涯にわたって非常に皆さんにとっても重要なことでもありますので、ぜひ関心を持っていただいて、生涯に渡ってこれを良い状態に保っていただきたい。我々もそのために一生懸命お手伝いをしたいなと思っております。

**塩竈** そうですね。歯科医師会の皆さんで取り組んでいらっしゃる、まずはその一関の現状、高齢化に伴って様々な口腔の変化が出てくるということで、その年齢に合わせた取り組みも勿論なんですけども、これから先、その高齢に向かって行く人達にも事前の予防であったりとか、いろんな取り組みのそういったスキルを身に着けるため取り組んでいらっしゃるということが、今日は分かりました。会員数が67名、55の歯科医療機関、それから診療所が関わっています。一関歯科医師会から、今日は久保田歯科医院の久保田文吾先生にお越しいただきましてお話を伺いました。先生、どうもありがとうございました。

**久保田** どうもありがとうございました。